

EDU210 教育における社会正義の問題

2年 3,4クォーター

担当教員 Kelly King, Ph.D.

授業形態 演習

単位数 2

曜日・時限 火曜日・5時限

授業概要

このコースでは、教育に世界規模の影響を及ぼす社会正義の問題、特にジェンダー、人種、社会階級、宗教、セクシュアリティ、能力、言語に焦点を当てる。「社会正義」という用語を使うのは、教育機関の現場に今ある不公平を照らし出すためである。学生は、不平等に光を当てた様々な理論や研究の論文を読んで、世界各国の特定の教育カリキュラムや教育機関について学ぶ。また、リーディングの対象となる研究に関連する重要な用語や概念に習熟することが求められる。さらに、読んだものについて議論し、分析し、統合し、特定の学生集団が教育課程に入れたり、入れなかったりするメカニズムを学ぶ。また、学生、教師、保護者が教育機関の慣習を無意識のうちに維持、支持、または変革しようとするその仕方にはどのようなものがあるのかも学ぶ。更に、(地域およびグローバルでの)教育環境において、どのようところで不公平があるのかを特定し、社会正義に向けてどのような行動が可能であるか考える。このコースはリーディングが主体であるので、課題リーディングを行い、それを議論できるように準備をしたうえで授業に臨むことが不可欠である。

到達目標

- 教育社会学分野の重要概念と社会正義の問題に関する実際に使える知識を培う。
- ジェンダー、社会階級、宗教、セクシュアリティ、人種、宗教、言語の問題が、個人または集団が教育を受けられること(あるいは受けられないこと)にどのように影響するかについて理解を深める。
- 日本や世界の他の地で、社会正義とは教育の場ではどういうことなのか、また、それはどのように達成できるのかを考える。
- 読んだ物や自身の教育経験を批判的な目で見、それについて熟考する。

先修科目

なし。講読中心の講義に対する準備が求められる。

教科書・参考資料等

担当者がリーディング教材一式を作成し、学期初めに購入できるようにする。

成績評価

小テスト	25%
試験	30%
プレゼンテーション	20%
ライティング/レポートとウィークリージャーナル	25%

授業スケジュール(変更される場合がある)

第1週: 定義と理論的基礎

Paulo Freire, *Pedagogy of the Oppressed*; Bell Hooks, *Teaching to Transgress*

第2週: 定義。社会正義とは何か? 平等と公平の意味は? 教育における社会正義とは? 社会正義のための教育とどのようなもの?

R. W. Connell, *Schools and Social Justice* (1993)/ G. M. Walton *The Myth of Intelligence* in Allen & Reich (Eds.) *Education Justice & Democracy* (2013). ジャーナル1 締切

第3週: トピック: 貧困階層と教育: 米国と英国の事例。

リーディング: A. Lareau, *Unequal Childhoods*; 小テスト1; ジャーナル2 締切

- 第4週:トピック: 貧困階層と教育: インド、中国、ハイチの事例; E. L. Brown, P.C. Gorski & G. Lazaridis (eds.), *Poverty, Class, and Schooling: Global Perspectives on Economic Justice and Educational Equity* (2014).; ジャーナル3 締切
- 第5週:トピック: 移民、言語、教育。米国の事例。Allen & Reich (eds.) *Education Justice & Democracy* (2013); G. Valdés *The World outside and inside Schools: Language and Immigrant Children* Educational Researcher, (1998). 小テスト2
- 第6週:トピック: 移民、言語、教育。日本の事例。Y. Kanno, *Language and Education in Japan: Unequal Access to Bilingualism* (2008). ジャーナル4 締切; ショートプレゼンテーション
- 第7週:トピック: 文化と教育。理論のリーディング: 文化とは? 誰の文化が重要視され、誰の文化が軽視されているか? 「文化」はいつ重視されるのか? 「文化」はどのような時に教育を受けさせないために使われるのか? ジャーナル5 締切; ショートプレゼンテーション; 小テスト3
- 第8週: 第1期クォーター 期末試験;
- 第9週: トピック: 文化、教育、宗教; 米国とオーストラリアの事例。ジャーナル6 締切
- 第10週:トピック: 人種(ジェンダー)と教育; U.S. J. E. King *Dysconscious Racism: Ideology, Identity, and the Miseducation of Teachers*; race & gender in education (the U.S.); N. Lopez; *Hopeful Girls, Troubled Boys: Race and Gender Disparity in Urban Education* (2002); ジャーナル7 締切; 小テスト4
- 第11週:トピック: 人種と教育; 移民、言語、人種、教育に関するリーディング; 台湾と日本の事例/ ジャーナル8 締切
- 第12週: トピック: ジェンダーと教育; 米国と日本の事例。ジャーナル9 締切; 小テスト5
- 第13週: トピック: ジェンダーと教育; カナダと韓国の事例;
- 第14週: トピック: セクシュアリティ、ジェンダー表現、教育; 米国の事例; A. Halder, *Education Inequality and Global Justice for the Third Gender. Hijras in India* (2015); 小テスト6; プレゼンテーション
- 第15週: トピックセクシュアリティ、ジェンダー表現、教育; および教育における社会正義: L. A. Bell, *Theoretical foundations for social justice education*. In Adams, Bell & Griffin (eds.), *Teaching for Diversity and Social Justice*, 2nd ed. (2007). プレゼンテーション
- 第16週: 第2クォーター 期末試験

事前・事後学習

- ・予習: 参考図書の該当する章を予習してくること (1時間程度)。
- ・復習: 授業内容を復習し、疑問点を整理すること (1時間程度)。